

# 大東市立歴史民俗資料館 市民学芸員REPORT

第2号

## お嫁にきたのが大東市 仕事での経験を活かしてみたい

「わたしは市民学芸員」。お二人目の登場は岡本尚子さん。落ち着きを若々しさがくるるんでいるような、還暦前の三児のお母さんです。

岡本尚子さん

・大東にはいつ頃からお住まいでしたか？

昭和五十一年の秋です。結婚を機に岡山県美作市からきました。湯郷温泉や武蔵の里がよく知られていますが、親戚に紹介されてのお見合い結婚です。義父が鐘紡の大東工場に勤めていたため、主人は大東生まれの大東育ちです。

・大東の印象はいかがでしたか？

大阪は都会で怖いところと思っていたのですが、大東市は違いました。当時は、駅から少し歩けばけっこう田んぼがありましたし、背の高いヒルがあるわけでもない。頭の中で描いていた大阪のこてこてのイメージとはちがいました。田舎の家しか知らなかったので、

最初の家は隣家との距離がせせこましく窮屈でした。

・ということは、結婚式はこちらで？それまでなにかされていたのですか

市民会館にあった「大東殿」です。今はなくなってありません。

### わたしは市民学芸員



インタビューに答える岡本尚子さん（栄和町在住）

高校を出てからは四年間ほど岡山県のバス会社でガイドをしておりました。まわりの人からガイドなんてできるの？といわれました。仕事では西日本各地を飛び回っていました。

・当時は花形の仕事だったんですね。じゃあこの近くも通っていたりして？

はい。奈良へ行く時は、必ず阪奈道路を通っていたので憶えています。よく渋滞するんですよ。

当時は、いまのようにバスのなかにカラオケなんて

もちろんありませんし、バスガイドがひたすらしゃべらなくちゃいけないんです。動かないバスがうらめしかったです。景色も変わらないうし、野崎観音やお染・久松のことも今ほどは詳しくない。まさかその近所に居つくなんて思いもよらなかった。(笑)

・右も左もわからない土地へ嫁いでこられて寂しくなかったですか？

お姑さんにあちこち教えてもらっていました。よく行っていたのは住道商店街の「電アパート」でした。また三人の子どもの七五三やお宮参りで野崎観音さん。人、人、人で、じきに疲れてしまっ、お参りするどころじゃなくなる。なんのために行ったんや？(笑) …とにかく大東市に引越してきてからは、あつという間の三十五年間でした。家族全員が生粋の「大東っ子」で、私だけよその人という思いもありました。3頁の最下段に続く

## 住道駅周辺 ウォーキングラリー

4月24日(日) 14:00  
~16:00  
定員 50名  
費用 無料  
集合・出発 住道駅  
解散(ゴール) 歴史民俗資料館  
4月9日(土)から電話または  
来館でお申し込みください

## 大東の 風景を訪ねて

前の市役所はどこ？  
昔の駅はこんな建物？

各地点で市民学芸員が  
古い写真を紹介します

ゴールの歴史民俗資料館では  
景品をお渡しします

町はどのように、さまがわりしたのでしょうか  
スタンプラリーを楽しみながら  
町の変化をみにいきましょう



住道駅が  
ラリーの  
出発点です



大東市立歴史民俗資料館

# 市民学芸員



# わたしのモノ語り

私たちはこのたびの企画展「大東の風景」のうち一ふりがえる大東の風景」の中の一部に関わらせて頂きました。出品物はありふれたものですが、それぞれにとっては、思いの品、手放せない品々です。  
他の展示物同様、是非ご覧下さいませよう、よろしく願い申しあげます。

## 1960年代私の一品 わが部屋に デンチクから ステレオコンポ

為則泰明 (南新田在住)

私が小学生のころ、我が家には当時珍しいデンチク、電気蓄音機がありました。「SP」と呼ばれるレコード盤もあり、なかにはベーターベンの第五交響曲の立派なアルバムもありました。ハンガリヤ舞曲やラベルのボレロ等のエキゾチスムには強く惹かれ

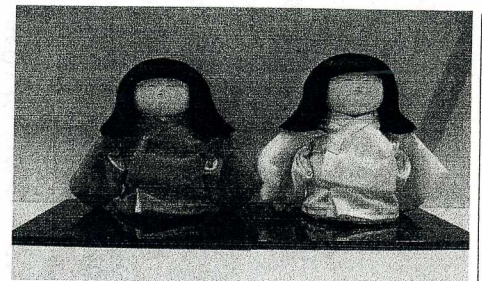
たものです。親が自由にさせてくれたので、幼い兄弟たちと一緒にこれらのレコードをかけては、気に入った曲の盤にクレヨンで渦巻き模様を付けて目印としたりしていました。ラベルを読むことが難しかったからです。盤を回しながらクレヨンをあてがって中のほうへずらしていくと綺麗な渦巻き模様ができ、面白がってやっていました。ピックアップの針も竹製のものがたくさん残っていました。



音楽が双方向から聞こえる、初期のデモレコード

## 私の自信作 夢中で作った たちこ 立見人形

橋本 醇子 (北条在住)



中学生になった頃にはその電蓄は故障して音がなくなっていました。ボーイスカウトの先輩の高校生が友人を連れてきて修理し、レコードを持ち寄って楽しんでいました。その頃初めて買ったもらったレコードが「ブルーカナリヤ」と云う曲でした。歌い手が誰だったか、「雪村いづみ」ではなかったように思います。高校生の頃には自分の機の引き出しの中に、取り外したプレイ

ヤーユニットを組み込んで悦に入ったりしていました。たぶん兄弟たちには不評だったでしょう。

その頃弟が買ってきたラベルの「亡き王女のためのパヴァーヌ」に深い印象を受けた覚えがあります。

昭和四十年頃FM本放送が始まって間もなく、東芝製の「ロンドン」(MS-40)というステレオコンポが我が家に来てきました。今も私の機の横に座を占めています。

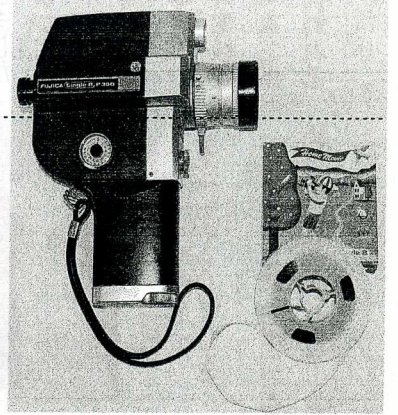
私が作ったたちこ創作京人形教室へ行けば人形に着物を縫って着せられるかと思ひ、習いに行きました。三等身の人形、使う材料、工程の複雑さに戸惑いながら夢中で作った、課題作の三作目の人形です。人形は先生の指導のままに、着物はいろいろ工夫をして縫いました。その着物を着せて始めて出来上がった人形を見た時はびっくり見とれていたと思います。

ます。これにはステレオのデモレコードが付属していて、大切にとってあります。音源が左右に移動する様子にとっても感動しましたが、今ではもっぱら手軽に取り扱えるCDやMDで音楽を聴いています。

### 長男誕生で8ミリ購入 親ばか物語

上野 繁 (水野在住)

初めて買った「フジカシングルエイト」



1970年(昭和45年)に開催した大阪万博は、77カ国が参加して、また万博史上初めての黒字で大成功を収めました。その翌年の1971年

2月14日のバレンタインデーの日に我が家の長男が誕生しました。1971年の世界の大きな出来事は「スミノミアン体制」で、円は16・88%切り上げられ、1ドル360円から308円となり、財界は大騒ぎとなりました。翌年政界では「三角大福」の睨み合いが続きました。それでも海外旅行者が年間数百万人を突破しています。

この頃国内ではアンノン族と呼ばれる若い女性の旅行者が大幅に増加しました。女性の服装もミニからパンタロンへ移行しました。

1971年の日本レコード大賞は尾崎紀世彦の「また逢う日まで」。日清のカップヌードルが発売され、ミスタードーナツの1号店がダイエー箕面店に開店し、日本マクドナルド1号店が銀座に開店して、外食産業が本格的にスタートしました。日本経済の発展に伴い環境が悪化し、東京や大阪で「光化学スモック」が発生し、ひどい日は連

動場で遊べなくなりました。

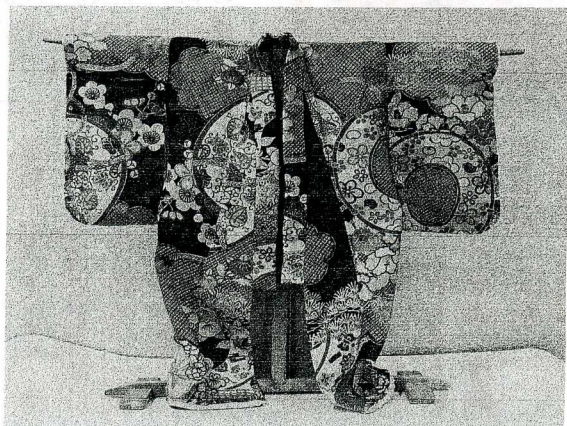
大東市では「市民会館の完成」「市制15周年式典」「市民憲章の制定」「市の木：さんごじゅ。市の花：菊」が決まりました。

そんな頃の我が家での長男誕生で良い字画の名前をつけようと、数種類の名前を考えました。子供の名前には親の価値観が大きく影響するようです。世知辛い世の中ですから、周りの人に優しく思いやりのある人間に育つように「仁宏：よしひろ」と命名しました。

息子が伝い歩きを始めると8ミリカメラと映写機を買いました。家庭用のフィルムの長さは1本で3分間です。それでは短すぎるので幾本も繋いで編集しました。それを上映して家族で楽しんでいました。

### 母との思い出 ミニチュアの着物

母の長じゅばんから数えて3代目  
黒川喜和子 (三箇在住)



若い頃の母の長じゅばんから数えて、三度生まれ変わっている、ミニチュアの着物

戦争直後、物資も不足で、私にさせてやりたない晴れ着がなかったの、若い頃の母が自分で育てた蚕の、まゆのくず玉から作った自分の長じゅばんをほろぎ、一針一針、晴れ着に仕立て直して着せたよ、と聞いています。生地も数十年たち薄くなって、もう仕立て

直しが無理なので、良い箇所を選んで、友達にミニチュアの着物を作ってもらいました。傷んだり、着れなくなった着物は、細くさいいて、さき織りで帯に仕立て最後まで大事に使いました。私と母の思い出の品です。

「私は市民学芸員」  
岡本尚子さん…  
1頁からつづく

今ではもうどっぶり身も心も大東にハマッています(笑)。  
最後に市民学芸員としての思いのようなのがあればお聞かせください。

人と接することは好きですし、バスガイド時代に培った経験を活かしながら、地域の歴史を伝えられたらと思います。特に、人とのつながりやコミュニティは大事にしていきたいと考えております。  
今後ともよろしくお願ひします。  
どこまでお役にたてるかわかりませんが、私なりに出来ることを探っていきたいです。

・本日はありがとうございました。  
(聞き手 大西京子)

市民学芸員

わたしのモノ語り

### 気にいていた 25年前のワープロ 13年前の携帯電話



水永八十生  
(平野屋在住)

携帯電話(1998年3月製造 DOCCOMO P2006)

日本で初めて持ち運べる電話が登場したのが1985年。自動車電話を車外でも使えるようにしたもので、重さは3キログラムもありました。ショルダーバッグのように肩に掛けて持ち歩きました。知人が使っていました、便利さはともかく大きさと重さが印象に残っています。1987年にハンディタイプの携帯電話機、1993年には「第二世代携帯電話」と言われる

時代へ入り通話料金等も安くなり求めやすくなりました。当機種はそんな折り、社会人になった我が家の子どもが仕事のために買い求めたもので、我が家に初めて登場したものです。しかし、この携帯には1997年から始まった短い字数の「ショートメール」機能は付いていました。まだカメラ機能はなく、インターネットと接続もできませんでした。



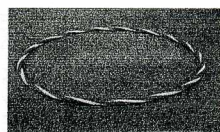
最初に買ったワープロ(1986年製造 カシオHW900FJS)

1978年に日本で初めてお目見えしたワード

プロセッサは、重さが180キログラム、価格は630万円でした。ワープロの略称で呼ばれているワードプロセッサが一般に普及し始めたのは1985年頃からです。プリンタが内蔵され、乾電池を電源にすれば持ち運べ、価格も10万円をきりました。文章を作り印刷するだけでなく簡単な表の作成や計算もできました。しかし、液晶画面が小さく、わずか数行の文章しか表示できませんでした。そんな中で、86年に買い求めた当機種は、低価格でありながら表示行数が5行ありフロッピーディスクも使えるので気に入りました。でもすぐに大きな液晶画面で機能の優れた機種が現れたので新機種に買い換えました。ワープロ自体も2000年代に入るとパソコンに取ってかわられ、姿を消してしまいました。

### フラフープ 今もダイエット器具として 8ミリシングル撮影機 かつては運動会の主役

小寺良弘 (寝屋川市在住)



1958年ヒット商品フラフープ

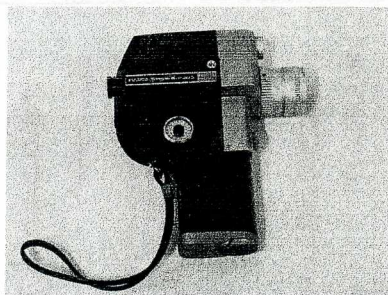
#### フラフープ

1958年(昭和33年)アメリカで流行し、同年10月日本でも発売。爆発的に売れる大ヒットになり、日本中にフラフープ旋風を巻き起こす。しかし激しい動きに子供が腸捻転になったとか、夢中になって交通事故に出遭ったとかで、一部の県で教育上の禁止勧告が出て、このブームは発売以来僅か40日ほどで鎮静化してしま

う。  
展示のフラフープは、このブームから約十数年後に、小学校の運動会で使用したもの。

現在フラフープは、ダイエットに効果あり

#### 8ミリシングル撮影機



とされ、シニア世代になった当時の子供たちの間で、今もフラフラ回りの続けているそうだ。

8ミリシングル撮影機「私にも写せます」扇風景のコマージュで一躍有名になった。

セミプロ級でないと思われないと思っていた映画撮影が、可憐な女性でも写せる撮影機が登場し、ビデオ撮影機が出るまで、運動会の主役を務めていた。「マガジン・ボン」と呼んだフィルムの生産が中止され、扇風景も議員を退役し、すべてが過去のこととなった。

市民学芸員

わたしのモノ語り

ビックリマンシール



ビックリマンシール  
一袋三十円でチョコレ  
ト菓子の中にビックリマ  
ンのシールが入っている  
物でした。毎日、三個ず

### オモチャは 子の成長とともに

ファミリーコンピュータ  
ビックリマンシール  
シルバニアのモグラハウス

岡本尚子 (栄和町在住)

始めのうちは、ファミ  
リーコンピュータは、眼  
によくなさそうだったの  
で、買ってやらなかった  
のですが、子どもが友達  
の家へ毎日のように行っ  
ては、ファミリーコンピ  
ュータをさせてもらって  
いたので、ついに買ってしま  
いました。その後、眼は  
悪くなるし、カセット代  
も高く金額がはるしで、

#### ファミリー コンピュータ

道路には、ビックリマ  
ンシールの外袋がゴミに  
なって落ちていました。

つ買っていたのを憶えて  
います。  
シールには「悪魔」と  
「天使」と「お守り」の  
三種類がありました。子  
どもたちにとっては、そ  
ろってキブキブの「天使」  
がお目当てです。チョコ  
レート菓子の方も、結構  
おいしかったです。最後  
の方では、さすがにお菓  
子に飽きて私が食べさせ  
られていました。



#### モグラハウス

今思うと高いおもちゃだっ  
たなあという感想です。

娘が三年生か四年生の  
時に、ただ一つ親にねだっ  
たのがこのシルバニアの  
モグラハウス(右の写真)  
でした。最初、モグラの  
子どもを買いました。家  
族をつくるために、お母  
さんが八百円位していた  
ので、子どものもぐらか  
ら集めていったようです。  
五、六年生になると布  
の切れ端で大きな縫い目  
ですが、服などをぬって  
着せ替えたりして楽しん  
でいたようです。

### 「僕、大東市と同一年やねん」



自宅の裏庭をお気に入りの三輪車で  
暴走中に撮影された一枚。半世紀前  
の写真です。最近の館長の口癖。  
「僕、大東市と同一年やねん。いっ  
しょ、いっしょ」と嬉しそうに、い  
たずらっぽく主張する顔を眺めなが  
ら(この写真とおんなじや!変わっ  
てへん!)と心のなかでつつこんで  
いました。館長、失言をお許しくだ  
さい。(匿名希望)

写真は 大東市立歴史民俗資料館館長  
笠井敏光さんです

### 50年来の「ピノテル」 乱曲(乱読)

#### いまだにその癖が

西本重利 (三箇在住)

私は2010年3月  
24日、ビルボードライ  
ブ大阪に『日野皓正クイ  
ンテット』のライブを聴  
きにいらっていた。いつで  
もそうだが彼のライブに  
行くときすくくハッピーに  
なる。シャープなトラン  
ペットが素晴らしい。  
彼が新宿(東京)のピッ

トイン?で演奏してい  
たときに偶然に聴いた  
のが最初である。「ピ  
ノテル」ブームとして  
マスコミにさわがれる  
前、1968年だった  
と思う。その頃一生懸  
命聞いたものは、ルイ・  
アームストロング(あ  
だなのサッチモは唇が  
トランペットを吹きす  
ぎてガマクチの様になっ  
てしまったからだだ  
という)、なべさだ、  
鈴木章治とリズムエー  
ス、ベニーグッドマン、  
サム・テイラーなど。  
シャンソンでは、イブ・  
モンタン、シャルル・  
アスナブルなど。イ  
ブ・モンタンは映画俳  
優としても一流である、  
彼の映画は八割方見て  
いる。  
歌謡曲では、ちあき  
なおみ、西田佐知子。  
あのころは乱読なら  
ぬ乱曲?でした。  
今もその癖がなおっ  
ていないようだ。

人生初の不覚を味わった  
そろばん  
入学祝いでいただいた  
万年筆

檜垣一美 (諸福在住)



検定4級が不合格 だった時のそろばん  
第1志望高校入学祝の父からの万年筆

中学二年の頃、片田舎の私塾で珠算を習い始めた。やがて検定を受けるまでに上達。初めてだからと五級を受験した友人は皆合格し、四級を受験した私のみが不合格だった。人生初の不覚を、共に味わった私のそろばん。一方、志望高校入学を祝って父が買ってくれた

万年筆。折しも父は脱サラした直後。僅かな貯えを切り崩しての生活の中で、娘の美文字を願う親心が伝わってきた。時を経て、私の悪筆は未だ変わらぬ、この万年筆の書き心地は今なお健在。青春の思い出を綴りたがっている。

現在三児の母になり毎日奮闘している娘の幼い頃、近所のお友達と外でゴザを敷いておままごと遊びをよくしていました。一九七〇年代に東京葛飾区の人形メーカーによって製造販売され、当時大はやりだったモンチッチは、子供達にとっては大切な友達一家のようでした。

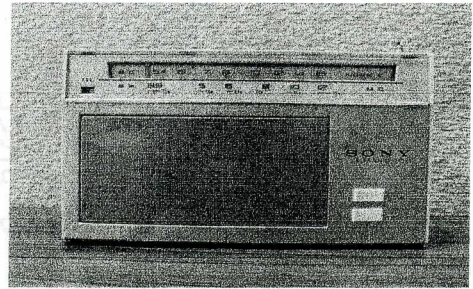
ち モンちゃん と名前を呼んでいたような気がします。最近はおままごと遊びをする子供たちもみかけなくなり、家の周りかとても静かになりました。あの頃のように子供たちの賑やかな声も聞こえなくなりました。モンちゃん さみしいよ

自立の日の  
両親からの贈り物  
トランジスタラジオ

浅野純郎 (豊中市在住)

このラジオは一九六三年(昭和三十八年)春、私が社会人として実家を離れ、一人暮らしをすることになった際に、両親

に少し無理を言って買ってもらったものである。当時、ラジオは新技術の開発に伴って真空管か



初任給よりも高価だったトランジスタラジオ

らトランジスタに切り替わる過渡期にあり、小型で携行可能なトランジスタラジオは新製品としてかなり高価で、私の初任給よりも高価であったと記憶している。ハイキングや海水浴に携行するなど、日常の友として大いに聴取させてもらった。今ではケースは破損し、アンテナの先はどこかへ行ってしまったが、ラジオ機能は健在である。今は亡き両親への追憶とともに、私の青春時代の思い出のラジオである。

1960~70年代  
ままごと遊びで路地は賑やかだった

モンチッチ

中下志津子 (泉町在住)

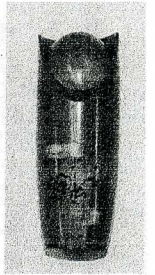


今も愛されているモンチッチ  
左から パパ モンきち モンちゃん ママ

### 義母が買ってくれた 変わりこけし

梅の頃には毎年楽しむ

岡島怜子 (川中新町在住)



昭和四十四年春 引越先の浜松で妊娠がわかり、義母がよるこんで来て下さいました。

出先で記念に買ってあげると言われて選んだのが、おくるみに包

### 1968年 氷野の本念寺 稚児行列の 8ミリフィルム

中西昭治 (諸福在住)

始めた時期でもありません。

その後四十年間よく働き、大東市にはただ寝に帰るだけの生活になっていました。

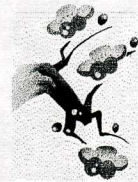
私にとっての一九六〇年代後半頃は、大きな節目の年でした。

十七年勤めた仕事を転職、三人の男子の出生。そして大東の氷野で、家のローンを払い

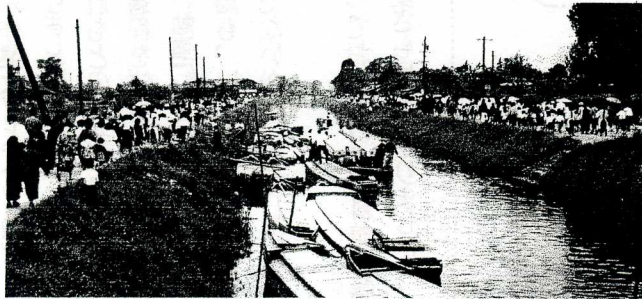
欲しくてたまらなかった8ミリカメラを手に入れたのはその頃でした。もともと映画が大好きだったので、当時のわが子たちを主役に撮りまくっていました。そんなフィルムの中に、氷野の本念寺の本堂落慶記念「稚児行列」を撮ったものがあります。

まれた赤ちゃんのイメージと梅の文様のやさしい、変わりこけしでした。毎年梅の頃にはこのこけしを飾り、桃の花、草もちも供えて楽しんでいきます。

旅立つ時には持って行って亡母にお礼を言いたいな、と思います。



した。今回機会を得て、四歳の長男が参加したその8ミリフィルムを、D



会所橋から上流を写した、昭和三四年の「野崎参り」の光景。本念寺辻岡法諦さんの提供の写真です。

VD化して見ることが出来ました。付添いのお母さんは皆さん留め袖の着物姿なのも時代を感じさせられる、昭和四十三年十月のものです。一九〇人のお稚児さんの参加だったそうです。

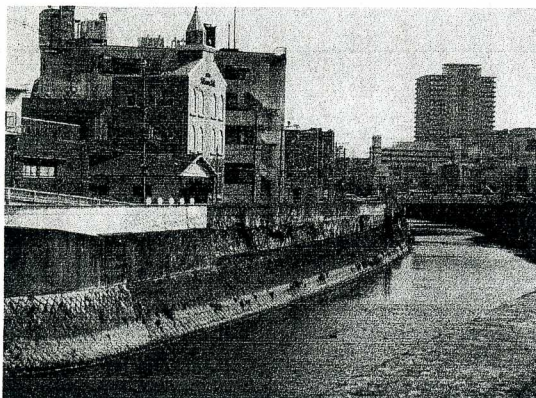
寝屋川改修前の風景が懐かしいですが、自然を多く残した堤防がその四年後の大東水害の原因のひとつになったのも現実です。

「稚児行列」はその後平成三年に行われましたが、次の予定はあるのでしょうか。

私にとって貴重な8ミリフィルムとDVDです。

## 寝屋川今昔

会所橋付近の右岸から下流を写した写真2枚です。右は1970年撮影左は同じ場所からの現在のものです。



# 大東市立歴史民俗資料館平成22年度特別展 「神社探訪・絵馬案内」をおわって 市民学芸員のひとこと集

おおぜいの方の  
ご来館  
ありがとう  
ございました



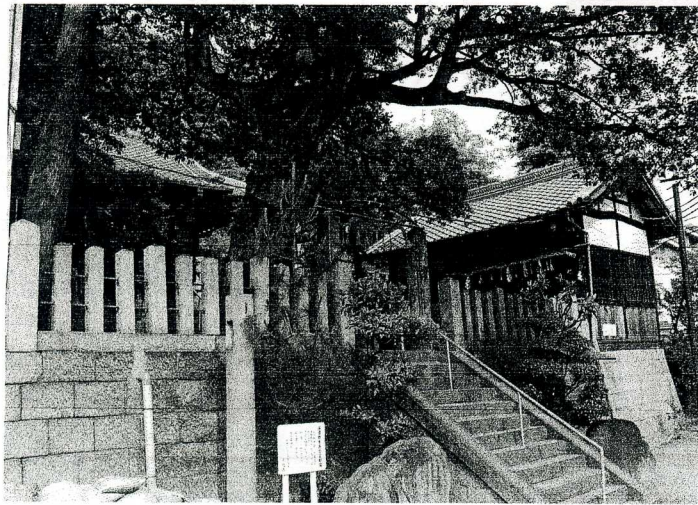
為則 泰明 (南新田在住)

企画決定以来、それぞれの神社の世話人の方々へのお願いから始まり、事前調査、搬出、清掃、展示作業などとても気配りを要する作業が続きました。また展示が終わって、またそれぞれもの神社への返還。いちいち具体的な過程を体験したことは初めてのことで、よい勉強になりました。お借りした絵馬も、いくらか綺麗にしてお返し出来たのでないかと、心楽しい思っています。少人数で頑張っておいでの、資料館の職員の皆さまの大変さも良くわかりました。

大西 京子

あっという間に一ヶ月は過ぎ、特別展のためお借りしていた絵馬、狛犬、獅子頭、湯釜は無事返還されました。今回の特別展では、たくさんの方々に協力いただきました。ここでは、おひとりずつ紹介することはできませんが、特に地元の方々には大変お世話になりました。現地へ赴いてもらったり、電話で質問をさせてもらったり、幾度となく貴重な時間を頂戴しました。誠にありがとうございました。

(大東市立歴史民俗資料館)



須波麻神社 (中垣内2丁目)

黒川喜和子

(三箇在住)

ようでした。

大東市立歴史民俗資料館 域の人びとに、あらためて、絵馬展が市民学芸員の参有難うございました。次の加で調査・運搬・解説・展世代に継ぐため、今私たちが示・返却が行われました。出来ることは、一人ひといつも神社で下から見上りに、大東市にはこんな歴ける絵馬が、資料館で自分史があつて、現在を生きてと同じ目線で見れることに、いることを知ってもらい、感激して、食い入る様に見 百年後の人びともこの日ると、当時の人びとの背景・本の文化を伝えることでしょ願ひ・祈りが聞こえてくるう。

松井 健一 (氷野在住)

普段ではなかなか見ることがない大絵馬を間近で見るといふ貴重な体験をすることができました。

戦後生まれの私にとって大絵馬に描かれている神話、武者、人物、歴史の場面等々に対する知識が乏しく、奉納された人々の願いや祈りを十分には読み取ることができませんでした。しかし時の経過とともに、描かれた絵に埃が積もり、色あせているものの、奉納した人たちが託した思いは変わらずそこにあり、地域の宝として守り続けている人たちがおられることを改めて知ることができました。



為則 照子

(南新田在住)

市民学芸員となって、大東市には奉納絵馬が沢山あることを知りました。準備は大きな作品の埃や汚れを取ることから始まりました。大切に、大切に、神社に返された、身軽になった絵馬たち、また会いにゆきますよ。

檜垣 一美

(諸福在住)

特別展に展示された数々の絵馬。その一枚一枚に込められた当時の人びとの祈りや願い。お礼として奉納されたものや、世相を映しているものも少なくない。

だが、絵馬展をお手伝いする過程でふと思った。今回出逢った絵馬たちは、時を経た今、観るものに元気を与えたり、癒しをもたらす存在としても役目を担っているのではないかと……。さらに、人と人とのつながりの不思議と大切さを学ばせてもらった。



特別展「神社探訪と絵馬案内」開催中の館内

水永 八十生

(平野屋在住)

市民学芸員になり、これまで知識になかったことを見聞きし調査活動に触れることで世界が新しく広がりました。また、大東市への愛着も増しました。石灯籠や狛犬、絵馬が過去の遺物としてではなく、現在に繋がるものとして人々の生活と息づかいが感じられるようになりました。

それは、見えている歴史と見えていない歴史の両面を丹念に読み取っていく仕事でもあることを知ることができました。

中西 昭治

(諸福在住)

絵馬がさかんに奉納されていた時期、それは、幕末、明治維新、富国強兵の激動の時代になります。

二百五十年ぶりのあいつく国内戦争、ロシアや中国との戦争、断髪令、帯刀の廃止、身分制度の崩壊、義務教育制、師走が途

中でなくなりいきなり正月、借金取りがとまどったという太陽

暦へのきりかえ、男は全員素っ裸にされての徴兵検査。

展示された絵馬の前に佇んでいると、そういう時代を懸命に生きてきたご先祖たちの息遣いが館内に漂い、幾重にもなっただけ聞かえてくるかのようでした。



「絵馬の歴史と民俗」

講演会を開催

特別展開催中は、講演会と見学会も実施されました。

講演会は会期の最終日の十二月二十三日開催され、「絵馬の歴史と民俗」をテーマとした岩井宏實先生のお話をお聞きしました。

絵馬研究の権威である先生の経験豊かなお話、さらに絵馬の奥深さを知ることができました。



岩井宏實先生の講演

# 「まねき」と絵馬と浮世絵と

芸術と実用品との間

小寺良弘（寝屋川市）

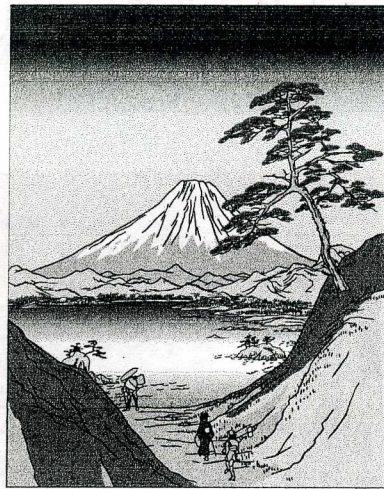
絵馬が美術館などに展示されるか、されないかは、それを芸術と見るか否かで決まるのではないかと。ならば、芸術か芸術でないかの基準は何だろう。

絵を見る力のない私だが、目の前の幾つかの絵馬に心うつものがあった。そしてふと、浮世絵を連想した。

現在、浮世絵は芸術として東京国立博物館で「写楽」の特別展示が開催されるそうだ。

私は現役頃、仕事の都合で徳島市役所に何度か出入りした。その関係で当時の市長とお話をする機会があり、その中で謎の浮世絵師「写楽」は、阿波の人だと聞いた。市長のご先祖さまは、江戸時代、製菓業を営まれ、全国各地に卸してい

たそうだ。そのお得意さんの土産の一つに配ったのが「写楽」の絵だったそうだ。切手にもなり、西洋の画家たちを刺激し、世界の美術館が好んで集



(一七九四)から翌正月の間に、生涯の作品一四二点以上を描き上げ、忽然として姿を消し、それが「謎の浮世絵師」と呼ばれる由縁のようだ。い

ての願いだったらー。全くの推察ですが、そういう事情なら分かるように思う。

絵馬に奉納者の名は目にしても、それを描いた絵師の名を気にとめていなかった。今更ですが絵師に悪かった気がする。

絵師と言えば昭和二十年代後半、映画全盛時代を迎えようとする頃、映画館の「まねき」を専門に描く看板屋さんがあった。店の中では絵師が一人、写真を片手に主演女優の表情を、見事に大看板をキャンパスにペイント描きしていた。それも二枚。同時に二枚並べて描いていた。

私の今日までの生活の中で、ほとんど関わりを持たずにきたと思われるものの一つが神社である。人びとが集団をなし定住する頃から、占いや巫女は存在し、大いなるものに支えられてきた。神

「きつと泣きます、泣かせます」

三益愛子主演の母物シリーズ。確かそんな映画の「まねき」だった。

絵馬展に関わる中で「絵師」についての連想でした。

## 神社と民と私と

高見庸子  
(太子田在住)

があった。祈りであり、願いであり、お礼である。娯楽としての物語を題材とした絵馬は心のなぐさみ、癒しであったらう。また、道徳意識の向上を図るもの、事件を伝えるもの。その時代の背景をあらわす。古人にとって、神社は何よりの生活の拠りどころとなっていたと思われる。

私として神前では素直に柏手を打ち、頭を垂れるのも、日本民族であり、その精神歴史を深く刷り込まれているあらわれであろう。

神頼みの意義の薄れた現代にも、各神社での行事がみられる。元日の初詣に始まり、祭り、合格祈願など。

は山であり、岩石であり、大樹でもあった。為政者により神代の国として造りあげられたこの国。民が日々の不安、疫病、悪気から身を守るため、神に祈るしかなかった時代を偲ぶ。

献上馬から奉納絵馬、変じて多種多目的の絵馬

平成22年度特別展「神社探訪・絵馬案内」をおわって

# よろこんで頂いて有難う

「絵馬」さんたちからの挨拶状

中西昭治（諸福在住）

あれは夏の真っ盛りの午後のことでした。いきなり大勢の見知らぬ男女が我が神社の拝殿にドカドカ上がり込んで来て、何やらワイワイ品定めしながら、私を鴨居から外し始めたのです。心地よいまどろみが一度に覚めてしまいました。そして数枚の仲間とともに自動車の積み込まれ、運ばれた先は大きな建物の一角でした。後で聞いたのですが、四条村、住道村、南郷村が一緒になって今は大東市というそうです、その神社に奉納されている私たち絵馬を、子孫のみなさんに身近に見ていただくために寄せられたものでした。

私の生まれてからずっと馴染んでいたキノノを、マスクで顔を隠した男女に、いきなり、さも埃を

払らうように脱がされはじめました。はじめはビックリし、恥ずかしく、祭神さまの助けを呼ぼうとしたのですが、すぐに身が軽くなっていくではありませんか。奉納された時の初々しい気分と漲る力を取り戻していたのです。他の仲間も同じだったと思います。

師走の約1カ月間、お



絵馬の展示前、奉納されて以来の「埃」を丁寧にほらう作業がおこなわれました

いになった方は千人までにはなりませんでしたが、思いのほか興味を持ち、存在を認めていただいたようです。そして何よりうれしかったのは、いつも大切にしてもらっている氏子さんの姿を見た時で、思わずウィンクなどしたものでした。氏子さんにはそれがわかって貰えたかどうか。

ようやく神社に帰ってきたのは、お正月の初詣を控えての年末でした。私を見て、「見違えるよ

うに、キレイになって帰ってきた」と氏子の皆さんも喜んでくださいました。「拜殿で留守番をしていた絵馬もお願いしたいなあ」。

今の世の中、「無縁社会」が進行中とお聞きしております。これからも現世での競争が激化、「自己責任論」が横行しますます「お願い事」は多様化、深刻化していくかもしれません。

皆さま方におかれましても、私をご縁にしても、近所のお宮さんにも時には連れだってお参りなされ、相携えて住みやすい、絆が広がり深まるコミュニティを作ってください。それでこそ、私の一カ月間のお務めもお役に立ったということになります。

今後とも、私ども絵馬での願掛け、ご祈念の件せいせい御気を留めておいて下さい。お役にたてると思います。

## マンガで振り返る、55年

講演会

楽しくって、ちょっとマンガが読みたくなる  
吉村先生のマンガの話

5月8日（日）14：00～16：00

講師 吉村 和真さん

京都精華大学准教授

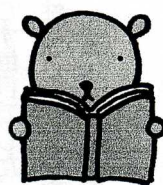
京都国際マンガミュージアム

研究統括室長

場所 サーティーホール3階

定員 40名

費用 300円



誰もが一度は読んだ  
ことがあるでしょう

貸し本マンガ  
コミック  
新聞の4コマ  
マンガ

申込受付は4月9日からです

電話または来館で

お申し込みください

定員になり次第×切ります

大東市立歴史民俗資料館

電話 873-3521 まで

平成23年4月9日(土)から  
5月8日(日)まで  
開館時間 9:00~17:30  
休館日4月18日(月)・5月2日(月)

大東市立歴史民俗資料館平成23年度企画展

### 大東の風景

I 分かりかえる大東の風景

ムカシのオモチャ

遊びのグッズがいっぱい

- 「わたしが子どもだったころ」
  - 「私のモノ語り」
  - 「おかしなクイズ」
  - 「教えて！大東のこと」
  - 「中学生が写した大東百景」
- など

大東市は今年で55歳。  
市制施行から現在までをそのときどきで  
流行した身近なおもちゃやマンガなどと  
ともにふりかえります。

II のこしたい大東の風景

カメラが感じ、  
絵筆などがとらえる

大東の風景

- ・写真
  - ・水彩画
  - ・油絵
  - ・版画
  - ・糸絵
  - ・パステル画
- など

のこしたい大東の風景をテーマに  
皆さんから公募した作品を展示します。  
未来の大東市に伝えたい風景について  
いっしょに考えてみませんか？

協力：京都国際マンガミュージアム

マンガ×絵引 マンガを研究しよう！  
このおかし、いつから？  
おかしなクイズ

私のモノ語り  
このオモチャ、あそんだ！  
私の子どもだったころ  
50's~00's

大東百景  
中学生の写した  
10%

大東 50's~00's  
このあたりも  
ずいぶん変わったわね！

### 大東の風景

開館期間 4月9日(土)~5月8日(日)  
開館時間 9:00~17:30  
休館日 4月18日(月)・5月2日(月)

入館無料

ウォーキングラリー「大東の風景を訪ねて」  
4月24日(日)▶14:00~16:00  
大東 50名 入館 無料  
JR住道駅 歴史民俗資料館

講演会「マンガで振り返る、55年」  
5月8日(日)▶14:00~16:00  
定員 40名 座席 300円  
講師 吉村和真さん

II のこしたい大東の風景

出品予定者 数寄橋 五十音順

高野敦香 佐野清隆 西田理絵  
池田守子 尾津洋行 藤田雅洋  
一ノ谷 隆三 林 一郎  
井手敏雄 下谷武 比嘉政弘  
植村孝二 末永力 牧本直樹  
高野高美 庄山立子 入見啓久  
小野純子 鈴木孝子 松崎千鶴  
落合裕彦 大東豊 松野正風  
片岡順代 高木真 松野尚志  
川上順之 竹内隆吉 宮内春雄  
紙上頭之 玉木亨明 宮坂和美  
本崎 庄本厚 宮本百合子  
黒川和雄 中尾隆夫 六車安博  
小林久美 山崎 元山  
松本正勝 西田 一 山本茂子

大東市立歴史民俗資料館  
〒574-0037 大阪府大東市新町13-30  
電話 072-873-3521 FAX 072-873-0119  
JR学研都市線「住道」駅下車、南東へ500m



昔の子ども  
今の子ども  
お揃いで！

4月9日から受付しています  
電話 072-873-3521 来館で  
大東市立歴史民俗資料館

JR住道駅周辺  
ウォーキングラリー  
4月24日(日) 14:00集合・スタート  
詳しくは1ページをご覧ください

マンガで振り返る、55年  
5月8日(日) 14:00から  
詳しくは11ページをご覧ください。

### 編集後記

市民学芸員の皆様のご  
協力で市民学芸員REPORT  
第2号を完成する  
ことができました。市民  
学芸員のパワーと感性の  
素晴らしさには驚かされ  
ます。

松井健一

今回の「大東の風景」  
の展示には私たちを含め  
て100人近くの市民が  
関わっているのではないで  
しょうか。大勢の観覧を  
得て、住みよい大東市に  
なってほしいですね。

中西昭治

35年前、職場に赴任  
するため電車を降り、木  
造平屋の駅舎を出てすぐ  
大きな水たまりを飛び越  
えたのが、私の大東市の  
第一歩だった。

水永八十生

「あのお菓子、よー食  
べてたわ」「なんちゅう  
のやった？」「えっと…」  
…ここ最近、古い記憶を  
よびおこす毎日でした。  
脳の活性化になったかな  
あ？

大西京子